

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズステーションみらe 放課後等デイサービス		
○保護者評価実施期間	R7年12月10日		～ R8年1月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 5
○従業者評価実施期間	R7年12月10日		～ R8年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年2月18日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画を基に、5領域を意識した活動プログラムを体系的に立案しており、子ども一人ひとりの興味・関心や「やりたい」「挑戦したい」という気持ちを大切に支援を行っている。 地域資源を積極的に活用し、社会性や経験の幅を広げる活動を実践できている点が強みである。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画に沿って、発達段階や個別ニーズを踏まえた活動プログラムを作成している。電車、公園、図書館、フィッシングパーク等の地域施設や屋外活動を取り入れ、実体験を通じた学びの機会を提供している。 ご家族向けアンケートを実施し、活動内容に対する要望や意見を把握し、支援に反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> 活動実施後には支援の振り返りを行い、気付いた点や課題を職員間で共有することで、活動内容や支援方法の見直しにつなげていく。 ご家族向けアンケートを継続し、ご家族のニーズや意向を意識した活動プログラムの改善を図り、より質の高い支援の提供を目指していく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質の向上。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援の振り返りに十分な時間を確保できていない時期もあったが、業務の見直しを行い、現在は振り返りの時間を確保できる体制が整ってきている。 援助についての学びを深め、日頃の支援や関わりを振り返ることを目的としたスキルアップ研修を毎月開催している。 外部研修・内部研修への参加を促進している。 eラーニングを活用し、継続的な学びの機会を設けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 安全面については、防災・防犯訓練および救急救命講習を計画的に実施し、職員一人ひとりの危機対応力の向上に努めてきた。今後もこれらの取り組みを継続するとともに、eラーニングを積極的に活用することで、継続的に学べる環境を整備する。これにより、職員の知識・技術の定着と更新を図り、組織全体の支援力および安全意識のさらなる向上を目指していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> 就学前や放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する際に、関係機関との連携を重視し、切れ目のない支援に努めている点が事業所の強みである。 相談支援員や関係機関との情報共有を通じて、子どもや家庭の状況を踏まえた円滑な移行支援を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援員をはじめ、各関係機関との情報共有と相互理解を図りながら支援を進めている。 担当者会議や移行支援会議を開催し、支援内容や課題、今後の方向性について共通認識を持てるよう取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在行っている連携体制を継続するとともに、他事業所の取り組み事例を学び合い、意見交換ができる場を設けることで、より質の高い移行支援の実現を目指していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の設備や環境面において、利用児童の行動障害や障害特性に十分配慮しきれていない部分があり、安心して過ごせる環境整備が課題となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童一人ひとりの行動障害や障害特性、成長段階が多様であることに加え、建物の老朽化により、構造や設備面で即時の対応が難しい箇所が存在している。 	<ul style="list-style-type: none"> 修繕や改修が必要な箇所については、安全性や影響度を踏まえて優先順位をつけ、計画的に改修を行っている。 利用児童の不安が軽減されるよう、職員の関わり方や支援方法を工夫し、安心して過ごせる支援環境づくりに取り組んでいく。
2	<ul style="list-style-type: none"> 法人主催の夏祭りや法人内の他事業所との合同イベントへの参加を通じた交流は行っているものの、外部に出向いて他児童クラブや地域子ども達と関わる機会が十分に確保できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児童の行動障害や障害特性により、集団活動や新しい環境への参加に対する不安が生じやすく、交流の場を広げることが難しい状況がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 企画段階から交流を意識した内容や関わり方を検討し、無理のない形で参加・交流が図れるよう工夫していく。また、他児童クラブや放課後等デイサービスとの連携を進め、段階的な交流の機会を設ける。 利用児童の不安が軽減されるよう、事前説明や環境調整、職員の支援方法を工夫し、安心して交流に参加できる支援環境づくりに取り組んでいく。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズステーション みらe

公表日 8 年 2 月 28 日

利用児童数

14名

回収数

12

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	11			1		利用児数に応じて、部屋を開放、または仕切ってスペースを確保しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	3				職員の配置基準を順守しております。日常お子様の状況に合わせ適時必要な支援を検討しています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	12					
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	11	1				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12					
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12					
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	2				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	1	3		交流に不安をお持ちのお子様もいらっしゃるので、ご意見をお聞きしながら、他事業所の交流等を慎重に検討していきます。
保 護 者	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11	1				
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11	1				
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	2	1	3		ご家族の意向を確認しながらニーズに応じたグループ面談等検討します。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	12					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11		1			送迎時に日頃の様子等お伝えし、ご家庭での様子や状況等についてお話をさせていただいています。ご家族の意向を確認し、個別面談やグループ面談等、今後検討していきます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	12					

への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	3	3		保護者のご意見もお聞きし、保護者会等の開催を検討していきたいと思ます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	11	1			契約時に重要事項説明書をもとに、苦情等の受付窓口から苦情解決責任者などご説明しております。苦情要望については、課内の連絡会、法人の経営会議、第三者委員会でも取り上げ、対応した結果についても評価しています。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	11	1			
	非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	9	1	2	
24		事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11		1		防災訓練は年2回実施しております。
25		事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	11		1		屋外活動の際には事前に安全点検を行っています。安全の確保ができた状態で活動を実施しています。点検結果はケアコラボ(ウェブ上の記録媒体)で周知をしています。
26		事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	1			
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12				
	29	事業所の支援に満足していますか。	11	1			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズステーション みらe				公表日	8年2月28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		職員配置基準は順守している。お子様の様子によっては、個別の援助が必要な状況がある。その場合は、他職員のサポートをもらっている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			高学年の児童が学習する時間が増えてきており、静かな空間や時間の確保が必要である。対応について検討をしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		今後、検討していく。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		定期的な会議も含め、資質向上を目的とした会議を実施している。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○				
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○				

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	○			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○			交流に不安をお持ちのお子様もいらっしゃるため、ご意見をお聞きしながら、他事業所の交流等を慎重に検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		R7年1月に保護者交流会を開催(ワークショップ)。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		法人の夏祭りを開催。地域の方々にも案内を流し児童、ご家族、地域住民の方も多く参加されていた。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○				